

はじめに

「いよいよなんです。先生の本が全国の書店に並ぶのは、自分のことのように嬉しいです。先生はうちの会社の女の子や、もちろんそれ以外のたくさん女の子に、人生の道しるべ、女性として何が大切で、どのような生き方をしたら幸せなのか、十二年周期や月別の運氣、相性の考え方など、ほかにもたくさん私達が知らないことを教えてくださいました。とても勉強になり、困ったり迷ったりした時は先生の言葉を思い出して乗り越えたり、私や妹だけでなく、皆さん感謝していると思います。

恋愛のことだけでなく、人の生死にかかわるような辛い経験をされた人にもアドバイスして、人生に行き詰まってしまいそうな人も救ってくださっていると思います。

だから、プロフィールとか前書きとかに、そういった女性の救世主であることを書いたら、はじめに本を手にする人は興味がわくと思います。

瞳監先生の幸せ占い 結婚したい女性必読！

などと書くと、ちょっと軽いノリかもしれませんが、若い女性に手にとってもらうにはいいのではないかと考えました。

勝手に一人で盛り上がってすみません」

「昨日、荒木さんにお会いできて本当によかったです。自分の中でこり固まっていた何かが溶けていくような感じがしました。」

自分は被害者だと思込んでいましたが、主人の苦しみを分かち合うまでには至らなかったことを知りました。精一杯やっていたつもりだったけど、まだまだだったのかあと…。これからのように向き合い、乗り越えていけばいいのかと考えると不安で、非常に苦しいです。ただ、それ以上に苦しんでいるのは主人だと思い、まずは笑顔で受け入れることから始めてみますね」

これは、私のクライアントからのメールの一部です。

私は長年、官庁や大手企業の職域で印鑑の出張展示販売を職業としてまいりました。そこで多くの方と出会い、さまざま相談をされ、私のオフタイムにも予約制で相談を受け付け、たくさんの方が訪れてきます。

その人達の心に少しでも優しく触れられるように、さまざまな分野のことを独学で学び対応してまいりました。そして、占いを自己啓発の道しるべとする独自のスタイルの鑑定法を築くことができたのです。

現代は、何が幸せなのか、人として大切なことは何かを見失い、混沌とした時代だと言えます。そんな時に、男と女が心のふれあいの中に幸せを感じ、家族が互いに助け合い、

連帯していく一体感の喜びを、古くて新しき知恵である「陰陽五行の法則」が教えてくれます。

この本は「幸せ」をコンセプトに、「占い＋生き方の指針」という構成でまとめられています。序章では、生年月日による占いと運や相性について解説しています。

第一章では、森羅万象と人間社会を紐解く「陰陽五行」の原理と考え方を概説しています。

第二章では、生年月日をもとに、自分の宿命を知るための方法を示しています。

第三章では、運や相性を活かし、幸せな結婚をするための人間模様を紹介しています。

第四章では、男と女の自然な関係を占いの原理から解説しています。

第五章では、親子と家族の関係性についても占いの原理から解説しています。

第六章では、陰陽五行と健康運について解説しています。

生年月日による宿命や系図の作成は占いでは必須です。本書では、誰でもそれがつくれるように、その方法も説明していますので（特に第二章）、ぜひご自分の宿命図などをつくってみてください。そして、それを活かして、自分の幸せを築いていただければ、著者として私はこの上なく幸せです。

二〇一一年陽春

荒木瞳監

序章 「運」の取扱い方法

※誕生日の秘密

あなたの「宿命の世界」に夫はいますか？ 恋人は何人いますか？ 子供は男の子ですか、それとも女の子ですか？

私達の人生という題名のドラマは、この世に産声を上げて誕生した瞬間から始まります。そのドラマをどのような作品に仕上げていくかは、脚本家であり、演出家であり、主役でもあるあなた自身にかかっています。

そのドラマのテーマ（ゴール）が「幸せ」とするならば、どのような「幸せの形」が自分を輝かせるのでしょうか。ドラマのシナリオは、私達がこの世に誕生した時に、天が私達に与えた素質・才能・性質等を基本にして書かれているのが前提となりますが、もって生まれた天命を「宿命」といいます。

誕生した瞬間から始まる私達の人生は、一秒たりとも同じではありません。常に変化しています。動いているのです。それを「運命」といいます。

私達の運命は、その取扱い方によって、どのような形にもつくることができます。宿命を活かす環境に恵まれ、それを輝かせる生き方をすれば運は上昇しますが、宿命にない運

の取扱い方をすると運気は停滞します。自分の思いとちぐはぐなことが多くなり、不幸な人生を歩むことにもなります。恋愛運の取扱い方を誤ると、火傷をさせていただきます。結婚運の扱い方をしくじると、破局してしまいます。

運の取り扱い方には注意が必要です。取扱い方のノウハウの基本は、自分の宿命の中にあります。宿命は自分の生年月日がもとになっています。誕生日というものには、自分がどう生きるべきかの秘密が隠されているのです。

なぜ誕生日に秘密が隠されているのでしょうか。宇宙には気のエネルギーが渦巻いています。誕生の瞬間、あなたはそのエネルギーの影響を受け、一つの宿命をもつこととなります。これは生涯、あなたに影響し続けます。あなたという人間を型どっている基本は偶然の産物ではなく、生まれた瞬間に天から与えられたものなのです。

※結婚運の「幸せの形」

誰でも、特に女性は結婚に自分なりの「幸せの形」を夢見ています。その幸せの形を共有できる人と結婚できればいいのですが、正反対の人だとストレスになります。結婚運の幸せの形は、宿命によって大きく四つのパターンに分けることができます。

一つめは「この人と結婚したら、私の生活はどうなるのだろう」と考えるタイプの人で

す。生活重視型の女性です。「収入は？ 出世の見込は？ 長男なのか次男なのか、親と同居か別居か」など、無意識のうちに厳しくチェックします。

ジャンル系イケメンであっても、生活力のない人は結婚の対象にはなりません。お付き合いをするにしても、その先に結婚が見えないような人とは付き合いません。どんなに素敵な人だと思っても、その人が結婚していることがわかると、もう興味がありません。「結婚できない人と付き合うのは損。時間のムダ」だと考えます。夫に「生活優先の役割」を求めるこのタイプの女性は、宿命に夫はいますが、恋人はいません。

二番めは「この人が好きだから結婚する」という愛情優先タイプの女性です。情熱的に恋をします。「好きになった男性がたまたま妻子がいる人だった」というようなこともあり得る人です。

結婚願望より恋愛願望のほうが強いのです。結婚に「大好きな人を一人占めしているようなイメージ」を抱いています。恋人をしている自分はイメージできますが、彼の母親や兄弟とお付き合いをしているイメージがあまり湧いてきません。

結婚することにより愛を深め、愛の絆をつくりたいのです。お金持ちの人と結婚しても不毛の愛の夫婦生活であれば、「六畳一間の貧乏な生活でも、愛に満された生活の方が幸せだ」と考えます。このような感性の女性は、宿命に恋人はいますが、夫はいません。

三番めは、宿命に夫と恋人の両方がいる人です。このタイプの女性は結婚と恋愛をどこ

か分けて考えているところがあります。恋愛はロマンチックな夢の延長線上にあります。情熱的に恋をしたうえで結婚したいのです。経済的に恵まれていても、愛のない結婚は考えられません。

しかし、宿命に恋人しかいない女性のように「貧乏しても好きな人」というわけにはいきません。結婚は現実的な生活の場です。大金持ちの人でなくともいいから安定した生活が見込まれる人でなければ結婚を決断できません。夫が夫の役割を果たしてくれたうえに、恋人のような存在でもあって欲しいのです。

最後の四番めは、宿命に夫も恋人もいない人です。このタイプの女性は、他のタイプの人と比較して、結婚や恋愛に対してその欲求が淡泊なところがあります。

かといって、結婚否定論者ではありません。一人で生きていく自信もないし、女として生まれてきたからには子供を生んで育てたいとも思っています。結婚したら妻の役割は果たすつもりでいます。しかし、夫から情熱的にまとわりつかれるのは苦手です。自分の時間を大事にしたいのです。「亭主元気で留守がいい」というのが、いちばん居心地がいいのです。

さて、あなたは宿命に夫がいる人でしょうか？ 恋人は？ それとも夫も恋人もいない人でしょうか？ その宿命はあなたの生年月日が教えてくれます。